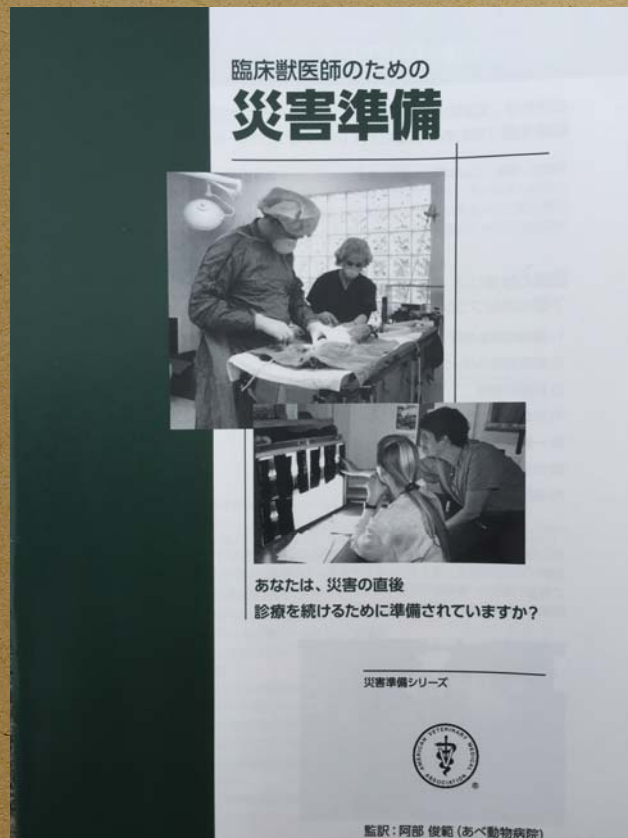


臨床獣医師の為の災害準備

災害時動物病院継続計画 BCP



日本小動物獣医師会
災害対策委員会

あなたは、災害の直後、診療を続けるために準備されていますか？

- 災害は、何時、どんな所でも起こります。
- 災害時に何をするかの準備をしていない場合
- 災害が、あなたのビジネスの結果を おそらくあなたの人生の結果を決定することになります。



AVMA 「Disaster Preparedness for Veterinary Practices」 より

動物病院継続計画

- 1) 動物の緊急避難
- 2) 診療継続
- 3) 建物や人員の安全
- 4) 火災防止
- 5) 診療記録のバックアップ
- 6) 保険や法的な書類

動物の緊急避難

- リード、クレートおよび他の特定の備品
- 必要に応じて、予め用意された動物の輸送方法
- 24時間のクライアントとの連絡先リスト（病院外から）
- 一時的動物の保護場所
- 安全で耐候性の患者識別
- 適切な協議会と連携して、防災プランや防災訓練にスタッフ、クライアントとそのペットが計画に参加し、防災プランに専念し、地域社会を守る。

診療継続 1

- 通信（固定電話、携帯電話やポケットベルに依存しない）
- 代替電源(定期的なメンテナンスされた発電機。発電機の燃料備蓄)
- 持続的な冷蔵（ワクチン等の保存）
- 24時間連絡のとれる医療業者リスト
- 院内スタッフと患者のための食料や水は5～7日間



診療継続 2

- 病院周辺の代替診療
- 被害状況をあなたの支部や地方獣医師会に連絡（例えば病院の火災）
- クライアントに不自由を掛けない。
- クライアントが他のところで診療を受けなくても済む
- 提携病院を採用（自分の地区以外の）

診療継続の準備

- 発電機（すべては電気）
- 過剰在庫（1ヶ月分）
- 水
- 石油ストーブ（電気を使わないもの）
- 照明（懐中電灯、ランプなど）
- ペットシート、新聞紙
- 通信手段（Line,Skyp,PHSなど） などなど

建物や人員の安全

- 電気系統から独立した水道システム
- 安全のために分離した酸素タンク
- 窃盗、略奪、その他の犯罪からの安全な診療
- 避難経路図
- 非常用照明
- 複数の出口

火災防止

- 職場内の主な火災原因物質の特定と、適切な取扱いおよび貯蔵法，発火源となり得るもの（例：裸火や火花），各火災原因物質に適した防火装置を調べる
- 引火性，可燃性の廃棄物の貯蔵防止法
- 発熱器具用安全装置の定期的なメンテナンス
- 引火や火災の防止・制御装置のメンテナンス担当スタッフの肩書き設定

診療記録のバックアップ

- 病院外のコンピュータでバックアップ
- 重要な文書の病院外での保管
- デジタルストレージ（デジタル・データ保存）

保険の適用範囲や法的な問題

◎現在、総合的な保険契約の内容確認

◎あなたの保険の適用範囲を確認してください

- 所得補償保険
- 休業保険（継続必要経費を保証）
- 拡張担保特約保険（獣医師賠償責任保険などに）

保険の適用範囲や法的な問題

◎ 火災損害保険

- ・ 水による損害保険
- ・ 瓦礫撤去/クリーンアップ保険
- ・ 建物や構造物の保険
- ・ 個人財産保険（再調達金額）
- ・ 臨時費用保険（残業手当および移転費用の支払い）

保険の適用範囲や法的な問題

- 労災の適用範囲
- 市町村による事業補償額
- レンタルとリースの物件を補償する保険
- 大動物や馬の獣医師は「収入の流動的喪失」を検討すべきである。